

つくるが楽しくなるまち「八尾」で「まちのコイン」実証実験スタート

6月8日（水） 連携協定を締結

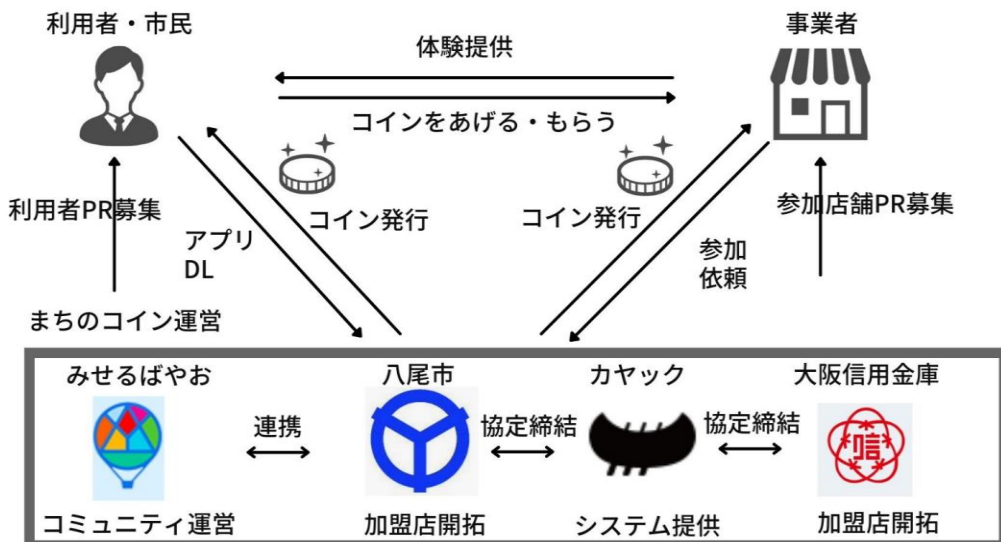
八尾市、株式会社カヤック（本社：神奈川県鎌倉市、代表取締役CEO：柳澤 大輔）、大阪信用金庫（理事長：高井嘉津義）は、八尾市の持続的な発展に寄与することを目的に連携協定を6月8日に締結しました。各々のノウハウ、保有するサービス等やネットワーク機能を活用し、八尾市の商業者、ものづくり企業、地域住民や関係人口等をつなぎ、生み出された活動からクリエイティブな発想を誘発し、新たな価値づくりとなるとともに、その活動の見える化を目指していきます。

【記者発表の様子】 URL <https://www.city.yao.osaka.jp/0000063800.html>



▼連携イメージ

まちのコイン



まちのコイン「やおやお」って？

【まちのコイン「やおやお」の概略】

連携協定3者に加えて、FactorISMで活用実績があり、また、八尾市と産業連携協定を締結している「みせるばやお」と連携し、コミュニティ通貨（電子地域通貨）サービス「まちのコイン」を八尾市地域に2022年6月8日から導入いたします。導入時には、大阪糖菓、カネエム工業、ボードゲームカフェ インスト、KISSAZEROICHI、YOM（ヤオオタイヤマーケット）、みせるばやおなど30箇所を利用可能です（6月8日現在）。「まちのコイン(通貨名:やおやお)」を活用することで、以下の項目をやおのまちで実現します。

- (1) 企業ブランディングを創出します。
- (2) 事業承継や創業支援を促進します。
- (3) 地域活性化に向けた商業者への新たなチャレンジを後押しします。
- (4) 子どもたちの参画による未来のアトツギやベンチャー育成に向けた土壌をつくります。

具体的な体験例

- (1) 企業ブランディングを創出します。

【大阪糖菓の体験事例】

弊社は、昭和15年にお菓子の卸問屋として開業し、今では、460年の歴史をもつ南蛮文化を象徴するコンペイトウを製造しております。

企業ブランディングを創出するために、このたび「まちのコイン」を導入しました。健康経営の促進と自社マスコットキャラクターの認知度向上によりブランディングを図って参ります。

1つ目の健康経営の促進として、従業員の健康診断の結果の改善や健康増進につながる取り組みを実施した従業員にコインをプレゼント。そのほかにも徒歩でお店までコンペイトウを買いに来てくれたお客様にコインをプレゼントします。この「まちのコイン」をきっかけに従業員や消費者の健康意識の醸成につながることを期待しております。

2つ目の自社マスコットキャラクターの認知度向上として、自社オリジナルキャラクター「シュガラブちゃん」を広く知っていただくものです。具体的な体験例としては、KISSAZEROICHIさんのコンペイトウメニューをSNSで発信したらコインをプレゼントします。そして、そのコインを使ってシュガラブちゃんに呪文をとなえてもらえる体験を提供します。

こうした体験を通じて、自社ブランドの新たな確立を果たしていきたいと思っております。



まちのコイン「やおやお」って？

(2) 事業承継や創業支援を促進します。

【カネエム工業の体験事例】

金属の光沢感、油のにおい、プレス機の音。幼きころに社員旅行やB B Qに参加した際にカネエム工業で楽しく遊んだことを思い出します。私にとっては特別な体験でした。大人になり、経営に興味があったことと尊敬する祖父の会社で働きたいと思う気持ちが強くなりました。そして、大手企業をやめ、アトツギ世代として、まち工場に戻ってきました。自社の主力製品は「ハトメ」で、消費者に近い製品によく使われていますが、「ハトメ」自体について、あまり認知されていないように印象がありました。あるとき、まちのコインについてお話を聞いたときに、「通貨じゃない価値の交換」というフレーズにすごく興味が湧きました。子供たち向けのワークショップをする際、価格設定が難しいなと悩んでおりました。そこで、このまちのコインの体験コンテンツにすることで、自社で出た端材を使って、子供たちにもものづくりを体験してもらい、また「ハトメ」というものを認識してもらえんと思いました。

初めて作った体験コンテンツは、「リベット打ち放題」というものでしたが、やって楽しいで終わってしまっていました。次は、やるのも楽しい、持って帰れるコンテンツとして、「ハトメが付いた“しおり”作り」を考えております。本来廃棄するしかなかった製品も、子供たちが楽しめる体験コンテンツに生まれ変わり、またハトメについて身近に感じてもらえる機会になり、未来のカネエム工業の事業を継いでくれる子どもたちが生まれることを期待しております。



【ボードゲームカフェINST&KISSAZEROICHIの体験事例】

創業して間もないボードゲームカフェINSTとKISSAZEROICHIは、共にカフェを営んでおります。お互いに日ごろからイベント企画したりするなど、創業当時から関わりが深く、自転車で行き来ができる距離にあります。

はじめ、「まちのコイン」を市の職員の方から聞いたときに、二人が声を揃えたのは、「面白そう」の一言。「とりあえず、やってみる」が創業当時のマインドになります。創業当時、常連客ができるまでは、売上が厳しく、生活に苦労していた経験がある。そんな経験から「まちのコイン」を通して、創業者同士が、お店同士がつながるツールになればと考えます。具体的な体験例としては、KISSAZEROICHIのマイボトルを持って、INSTに遊びに行ったらコインをプレゼント。反対にINSTのタオルを持って、KISSAZEROICHIに遊びに行ったらコインをプレゼントします。創業期の商売が苦しい時期に実施していた、お互いにお客さんを送り合い、お店同士の助け合いにつながる体験を提供します。



世界のボードゲームが
楽しめるカフェショップ
INST



まちのコイン「やおやお」って？

(3) 地域活性化に向けた事業者への新たなチャレンジを後押しします。

【YOM（ヤオオタイヤマーケット）の体験事例】

YOM（ヤオオタイヤマーケット）は、100年以上続く露店市「お逮夜市」の伝統を生かしながら、地域の魅力を体感し、楽しむきっかけとして、平成30年11月11日にスタートしました。マーケットでは、商店街の加盟店舗、外部出店者によるマルシェ、ワークショップなどを開催しております。開催エリアは、商店街エリア付近の寺社、公園にもブースを出店する、歴史・文化・市場のコラボレーションイベントです。コロナ禍もあり、開催延期、中止が続いており、令和4年6月11日(土)で第6回目の開催になります。

まちのコインを導入するきっかけとしては、第6回YOMの開催と同時期の6月8日に、八尾市で「まちのコイン」が導入実施されるということを知りました。「まちのコイン」は、人と人がつながるきっかけ作りになるということで、商店街と地域住民とのつながりが深めることができると考えております。YOMでの「まちのコイン」導入内容としては、YOMは、ファミリーロード（八尾市商業協同組合）・北本町中央通商店会の2つの商店街エリアを中心に開催していますが、2つの商店街は500mほど離れた位置に立地しています。2つのエリアに「まちのコイン」のスポットを設け、回遊してもらうきっかけとして利用したいと考えています。

地域に良いことができる「まちのコイン」が貯まると、株式会社マーナ様のエコバックと交換できるようにしたいと考えております。こうして、「まちのコイン」を導入することでYOMが盛り上がり、地域の事業者が新たなチャレンジにつながることを期待しております。



<本市の活動にご共感いただいた株式会社マーナ様よりエコバックの寄付>

SDGsや地域の魅力発信に取り組む本市に共感頂いた株式会社マーナ様よりエコバックを寄付いただきました。そのエコバックについて「まちのコイン」を活用するイベントの際にポイント交換で利用します。



まちのコイン「やおやお」って？

(4) 子どもたちの参画による未来のアトツギやベンチャー育成に向けた土壌をつくります。

【みせるばやおでの体験事例】

まちのコインを知ったきっかけは、2年前にみせるばやおのメンバーで*カマコンに参加したことです。カマコンの理念である「まちを熱くしていきたい人を応援すること」や「ゼンブジブンゴト化」にみせるばやおの理念と親和性があると深く共感しました。

みせるばやおは、子どもたちと企業が出合う場であり、将来のモノづくり企業とつながる場であり、子どもたちへ将来のモノづくりの担い手として、また、将来の起業家としてつなげていきたいです。みせるばやおでの具体的な体験としては、みせるばやおの会員企業の中で不必要になった廃材を持ち寄り、それを「欲しい」と思う人たちが、その廃材とコインを交換します。そのほかに、ワクワクカード（みせるばやおビジター会員証）に登録いただけたら、コインをプレゼントするなど、子どもたちと企業をつないでいきます。

*カマコン→鎌倉から始まった、たくさんのアイデアで地域のチャレンジャーを応援する地域活動



本件に関するお問い合わせ先

▼ 八尾市魅力創造部産業政策課

<所在地> 大阪府八尾市清水町1-1-6

<連絡先> sangyou@city.yao.osaka.jp / 072-924-3845 (担当：稲森)



八尾市産業政策課
Department of Industrial Policy, Yao City